

狂言

蝸牛

狂言

月見座頭

狂言

千鳥

第六回



東京

延年之會

2020年8月30日(日)

開演時間 ● 午後2時

会場 ● 東京 国立能楽堂





小笠原 匡

Tadashi Ogasawara

能楽師狂言方和泉流 公益社団法人・能楽協会会員
日本能楽協会 重要無形文化財総合指定保持者

1965年生まれ。野村萬(人間国宝)、故八世野村万蔵、九世野村万蔵に師事。18歳で門外から入門、10年間の内弟子修行を経て独立後は第一線で活躍、古典から新作への出演、NHK『義経』『ごちそうさん』での芸能所作指導他、その活動は多岐に渡り、桃山学院大学地域連携共同研究プロジェクトでは、ヴェネツィア大学にて狂言とイタリア伝統仮面劇コンメディアデッラルテのシンポジウム、公演を行う。2018年5月よりパリを代表する演劇集団『太陽劇団』での狂言ワークショップを担当、2019年2月ジャポニズム2018能楽パリ公演出演。フランスはパリ、リヨンを始め、ブラジル、ハンガリー、アルジェリア他世界各国にて公演を行い、狂言の普及に努めている。現在、萬狂言関西支部代表、千葉大学、放送大学京都学習センター客員教授。



小笠原 弘晃

Hiroaki Ogasawara

2001年生まれ。野村萬(人間国宝)、九世野村万蔵及び父に師事。3歳で初舞台『初猿(大名野村萬)』を踏む以降定期的に舞台を勤め、活動は海外に及ぶ。2017年にはパリ日本文化会館20周年記念特別狂言公演に出演。2017年5月ハンガリー・ブタペスト初の狂言公演にてシテを勤め、同年7月には野村萬蔵家襲名披露公演にて『千歳』を披露。2017年8月延年之會にて『奈須与市語』を披露。2018年アルジェリア初狂言公演に出演。2019年2月ジャポニズム2018能楽パリ公演では仏語字幕を担当。2012年公開、阪本順治監督作品・吉永小百合主演東映創立60周年記念映画『北のカナリアたち』出演。同監督作品2016年公開、藤山直美主演キノフィルムズ映画『団地』出演。現在パリ留学中。

2020年8月30日(日) 午後2時 開演 (開場1時半)

会場● 国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 ☎03-3423-1331(代表)

料金●

S席 7,000円 A席 5,000円 B席 3,000円

学生席 1,500円 ※未就学児は入場不可。

『直会』～演者と楽しむ懇親会～

日時: 2020年8月30日(日) 16:00~18:00

会場: 向日会 (国立能楽堂内)

会費: 5,000円(ビュッフェ食スタイル)



- JR「千駄ヶ谷駅」徒歩5分
- 地下鉄大江戸線「国立競技場駅」A4出口 徒歩5分
- 地下鉄副都心線「北参道駅」1番出口 徒歩7分

チケット取り扱い●

アトリエ オガ. Tel&Fax: 06-6942-1577

ticket@atelier-oga.com

萬狂言 <http://yorozyukiyogen.jp>

eプラス <http://eplus.jp> (パソコン&携帯)

セクターエイティエイト Tel: 06-6353-8988 (平日10:00~18:00)

KENSYOインターネット・チケットサービス

【PC】<http://www.nohkyogen.jp>

【mobile】<http://www.nohkyogen.jp/mobile>

主催・制作・お問い合わせ●

アトリエ オガ. (www.atelier-oga.com)

Tel&Fax: 06-6942-1577 / Eメール: contact@atelier-oga.com

協力●株式会社萬狂言/株式会社藤原プロデュース

千鳥

狂言
ちどり

酒屋 主人 太郎冠者
野村 萬 能村 晶人 小笠原 匡

主人から支払いが滞っている酒屋へ行き、今度も借金無しの酒を買ってこいと命じられた太郎冠者は、酒屋が話し好きなのにつけ込み、伊勢の浜辺で見た千鳥を伏せるところの話を始める。酒屋に話を囁かせ、自分は話しながら酒樽を千鳥に見立てて持って行こうとするが...

月見座頭

狂言
つきみざとう

座頭 上京の者
小笠原 匡 野村 万蔵

下京に住む座頭が、八月十五夜の名月の夜に野辺へ出て虫の音を楽しんでみると、月見に来た上京の男が声をかける。意気投合した二人は酒を飲み交わし別れるが、別れた後に上京の男はいたずら心で起し、別人によそおい引き返してわざと座頭に突き当たり...

蝸牛

狂言
かぎゅう

山伏 主人 小笠原弘晃
太郎冠者 野村万之丞 野村 万蔵

修行を終えた山伏が竹藪で寝ていると、主人の命令で長寿の薬となるかたつむりを求めにきた太郎冠者に出くわします。かたつむりを知らない冠者は黒い兜巾を戴いた山伏が寝ているのを見てかたつむりと思い込み声をかけ、太郎冠者を愚か者と見てとった山伏はからかってやろうと思



芸道三〇年・独立二〇年を記念し、二〇一五年に発足致しました『延年之會』も、昨年は東京・京都・パリ三都市での開催が叶い、お陰を待ちまして東京公演はこの度で第六回を迎えます。令和初の文化勲章受章者で人間国宝の野村萬蔵をはじめ、野村万蔵家一門の皆様にお相手を頂き名曲をお届け致します。とくに『月見座頭』は人間本性の奥底に潜む悲愴と滑稽とを同時に表現する不条理劇として、観客に問いをかける逸曲であると言われています。

是非ともご高覧賜りたく、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

能楽師狂言方 和泉流 小笠原 匡